No.1007

受信代行機能付
ファクシミリ専用２回線収容装置

FAXTANC TOP

ファックス　タンク　トップ

ＭＦＡ－０２

# 取扱説明書

LET'S corporation
株式会社レッツコーポレーション

# はじめに

このたびは、ファクシミリ専用２回線収容装置ＦＡＸ ＴＡＮＣ ＴＯＰ[ファックス タンク トップ]をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ＦＡＸ ＴＡＮＣ ＴＯＰ（以降、本装置）を安全にそして機能的にご利用いただくにあたって、本書をよくお読みになった上でご使用いただくようお願いいたします。

# ご使用上の注意

◆ 本装置はファクシミリ専用の回線切替装置となりますので、電話機など通話目的での利用を行った場合に、運用上において支障が出る可能性があります。

（1つの回線とファクシミリ間が使用中のときは、もう一方の回線は　ファクシミリ専用となります。）

◆ 接続する回線の環境および通信を行う装置間における固有の問題などで、本装置のご利用が正常にできないものがあります。

◆ 停電時など、本装置の電源が入っていない場合には、回線１コネクタとファクシミリコネクタ間が常時接続された状態となり、ほかのすべての機能については動作しません。

◆ 本装置のそばにテレビやラジオなどを置かれると、映像や音声に影響が出る場合がありますので、テレビやラジオから離してお使いください。

◆ 本装置の内部には高電圧な箇所（交流２００Ｖ）がありますので、分解したりしないでください。感電する恐れがあります。

◆ 法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても、本装置および付属品の使用、使用不能、または使用不備から生ずる損害」（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他金銭的、精神的な障害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

◆ 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。

◆ 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

◆ 本書の内容について、ご質問やお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

◆ 本装置には電源スイッチは用意されていないため、電源の入切は電源プラグにてお願いいたします。

# 目次


１．安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１ページ

２．製品構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５ページ

３．各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６ページ

４．装置の準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８ページ

５．回線の接続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９ページ

６．基本的な使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１ページ

７．動作表示について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２ページ

８．動作概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５ページ

９．各種設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６ページ

１０．便利な使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２ページ

１１．こんなときは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２３ページ

１２．仕様一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４ページ

１３．お問い合せ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５ページ

# １．安全上のご注意

## （１）安全にお使いいただくために

本書には、本機を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本機をお使いになる前に、本書をよくお読みになり、ご理解された上で本機をお使いください。また本書は、本機のご使用中にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。弊社は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全にお使いいただくために、細心の注意を払っています。

本機をお使いになる際は、本書の指示に従ってください。

## （２）表示について

下の表示は、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。



**警　　告**

取り扱いを誤った場合に、死亡又は重傷を負うおそれのある内容が書かれています。安全に使用していただくために必ずこの警告事項をお守りください。



**注　　意**

**取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある内容が書かれています。安全に使用していただくために必ずこの注意事項をお守りください。**

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない禁止内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく内容です。

# ⚠警　告

電源プラグは根本まで確実に差し込む
　→　差し込みが不完全ですと発熱による火災や感電の原因になります。
●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

煙・異臭・異音が出たり、落下、破損したときは使用を中止する
　→　火災、感電の原因となります。
●販売店又は、弊社までご連絡ください。

電源プラグを抜き差しするときは、金属でない部分を持つ
　→　感電の原因となります。

絶対に分解や修理・改造をしない（分解禁止）
　→　火災、感電の原因となります。
●修理は、販売店又は、弊社までご連絡ください。

ぬらさない（水ぬれ禁止）
　→　発火、感電の原因となります。
●ぬれてしまった場合には、直ちに電源プラグを抜き、販売店又は、弊社までご連絡ください。

電源プラグ、電源コードを壊すようなことをしない
（引き抜き禁止）
コード、プラグを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりはしない。

たこ足配線や、AC１００V 以外での使用はしない（たこ足禁止）
コンセントや配線器具の定格を越える様な配線はしない。
　→　たこ足配線などによって定格を越えると発熱による火災の原因となります。

# ⚠警　告

ぬれた手で電源プラグをさわらない（ぬれ手禁止）
　→　感電の原因となります。

内部に異物を入れない（禁止）
　→　火災、感電の原因となります。

本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などが入った容器、又は小さな金属物をおかない（禁止）
　→　こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

●ぬれてしまった場合には、直ちに電源プラグを抜き、販売店又は、弊社までご連絡ください。

電源プラグのほこりは定期的にとってください
　→　プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。

●電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

# ⚠注　意

**湿気や湯気、油煙、ほこりの多い場所では使用しない（禁止）**
**→　火災、感電の原因となることがあります。**

**毛足の長いじゅうたんやカーペットの上で使用しない（禁止）**
**→　火災、感電の原因となることがあります。**

**お手入れするときは電源プラグをコンセントから抜く**
→　感電の原因となることがあります。

**痛んでいないモジュラーケーブルを使う**
→　痛んでいるものでは、通信異常を起こす可能性があります。
**●痛んでいないもの、特にツメが折れていないものをご使用ください。**

## ２．製品構成

ご使用前に梱包されている内容をご確認ください。
万一、不足しているものがありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店
または弊社までご連絡ください。

ＦＡＸＴＡＮＣＴＯＰ本体・・・・・・・・・１台

モジュラーコード ２メートル　・・・・・２本

取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・１冊

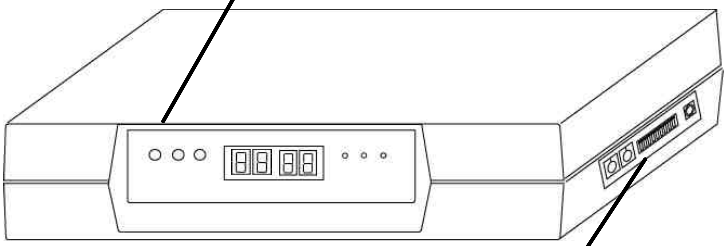
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１部

＊本装置設置には３本のモジュラーコードが必要となります。本製品付属の２本に加え、
ファクシミリ装置にてご使用になられているコードなど１本を別途ご用意ください。
付属のケーブルで長さが足りない場合には、別途長いモジュラーコードをご利用いただくことが可能です。

# ３．各部の名称Ⅰ

**前面パネル**

本装置の動作状態を表示するランプ及び設定スイッチがあります。
透明な蓋によって閉められていますので、通常は開けないでください。

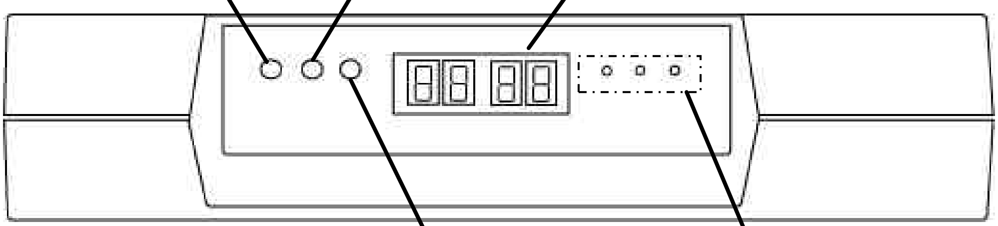


**側面設定スイッチ類**

本装置の動作に必要な初期設定を行うためのスイッチです。通常は蓋が閉められた状態となります。

## ＜前面パネル＞

①蓄積ランプ　②排出ランプ　④状態表示器

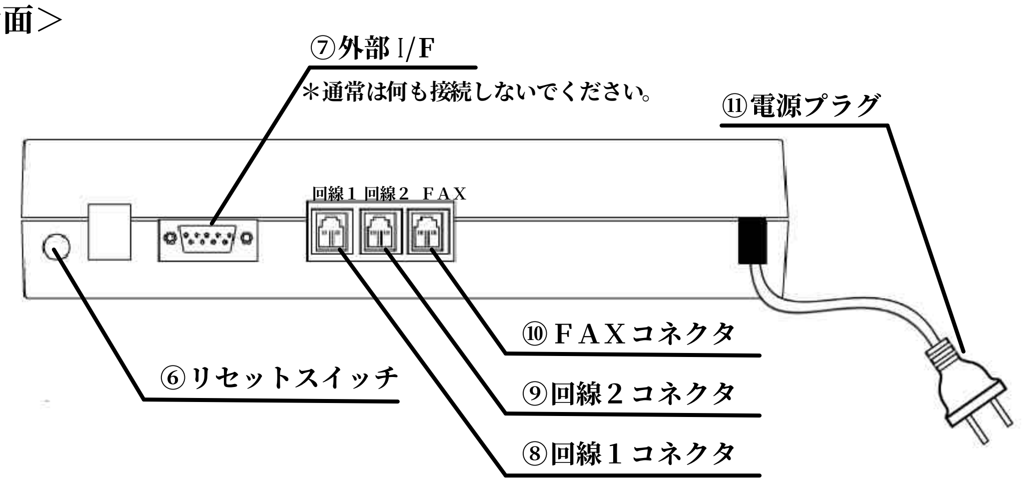


③エラーランプ　⑤メンテナンススイッチ

| | |
|---|---|
| ①蓄積ランプ | 回線からのファクシミリ通信の蓄積動作中に点灯します。 |
| ②排出ランプ | 蓄積されているファクシミリ情報をファクシミリ装置へと出力動作中に点灯します。 |
| ③エラーランプ | 動作に障害が生じた際にエラーとして点灯します。 |
| ④状態表示器 | 動作状態について表示します。 |
| ⑤メンテナンススイッチ | 通常は使用しないでください。 |

# ３．各部の名称Ⅱ

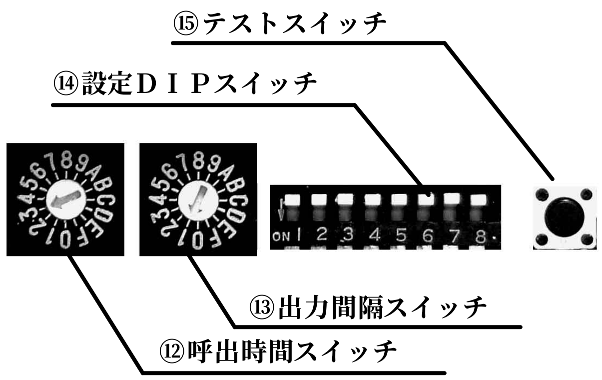
＜背面＞




| | | | |
|---|---|---|---|
| ⑥リセットスイッチ | 動作に異常が発生した場合、5 秒以上押し続けることにより、初期動作状態に戻ります。 | ⑧回線１コネクタ<br>⑨回線２コネクタ | 外線との接続を行います。接続方法については９ページをご確認ください。 |
| ⑦外部 I/F | 保守専用端子で、通常は使用しません。何も接続しないでください。 | ⑩ＦＡＸコネクタ | ファクシミリ機を接続するためのコネクタです。 |
| | | ⑪電源プラグ | 交流 100V 50Hz もしくは 60Ｈｚの電源をご使用ください。 |

**注意！　ＦＡＸコネクタにはファクシミリ機ではない装置および外線などの回線を接続しないでください。装置の故障や回線の異常などを引き起こす恐れがあります。**

＜側面設定スイッチ類＞



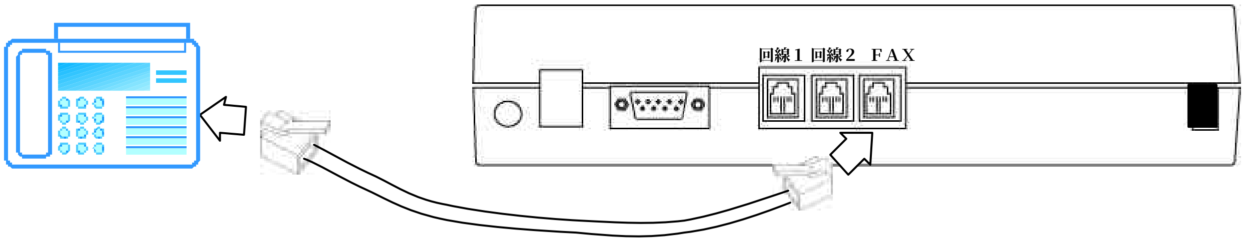

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⑫呼出時間スイッチ | ファクシミリ機を呼び出す際の呼び出し音を鳴らせる回数の上限を設定します。　詳細⇒17 ページ | ⑭設定 DIP スイッチ | 初期設定を行うためのスイッチです。　詳細⇒19 ページ |
| ⑬出力間隔スイッチ | 蓄積されたファクシミリ情報を何秒おきに出力するかを設定します。　詳細⇒18 ページ | ⑮テストスイッチ | ファクシミリ機との接続を確認するためのスイッチです。　詳細⇒21 ページ |

# ４．装置の準備

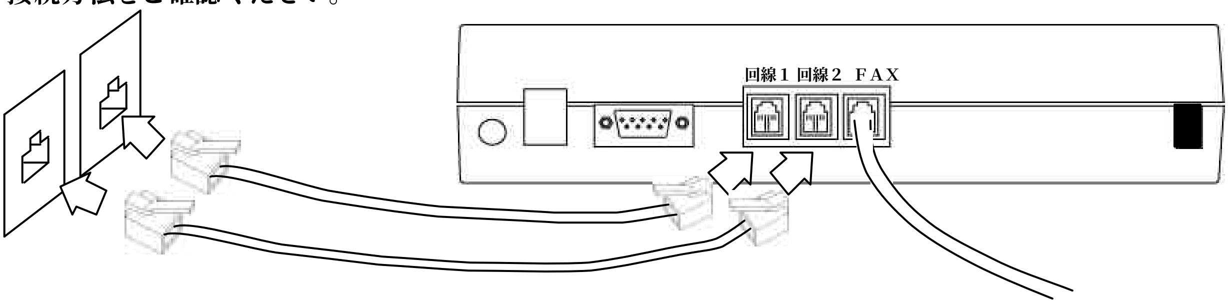
## 本装置をご使用いただくには、次の接続を行います。

＊　装置の準備を行うときは、本装置及びファクシミリ装置の電源を切り、外部回線に何も接続されていない状態で行ってください。
＊　本装置設置には３本のモジュラーコードが必要となります。本製品付属の２本に加え、ファクシミリ装置にてご使用になられているコードなど１本を別途ご用意ください。

① ファクシミリ装置と本装置とをモジュラーケーブルにて接続します。




② 本装置の回線１コネクタと回線２コネクタに、外部回線をモジュラーケーブルにて接続します。その際、回線の種類によって接続方法がありますので、９ページで接続方法をご確認ください。




③ ファクシミリ装置の電源を入れ、ファクシミリが受信可能な状態にします。

④ 本装置の電源プラグをコンセントへ差し込み電源を入れます。このとき、本装置がファクシミリ装置の通信性能を取得するため、通信を行います。その場合、通信終了時にファクシミリ装置が通信エラーを発生しますが異常ではありません。

注意！　本装置のＦＡＸコネクタに外線や内線などの回線を接続しないでください。本装置の故障や回線への障害などの原因となります。

# ５．回線の接続

　本装置に接続する２つの回線が「両方ともにプッシュ回線」及び「両方ともにダイヤル回線」である場合と、「片方がプッシュ回線で、もう片方がダイヤル回線」という場合とで２つの接続方法がございます。

**⇒回線がダイヤル回線かプッシュ回線かを確認する方法**
　プッシュ回線に設定したファクシミリおよび電話機などを回線に接続し、時報「117」などをダイヤルします。そのときに時報につながればプッシュ回線となります。つながらずに、プッシュボタンを押しても「プー」という音が出続ける回線についてはダイヤル回線となります。

## 両方が同じ回線の場合

（「プッシュ回線同士」もしくは「ダイヤル回線同士」）

　本装置に接続する回線が２つとも同じものである場合には特に制限は無く、本装置の回線１コネクタと回線２コネクタのほうにそれぞれ回線を接続してください。その際、本装置に接続するファクシミリ装置の回線設定は、接続した回線と同じものにします。

・ともにダイヤル回線の場合・・・・ファクシミリ装置回線設定＝ダイヤル回線

・ともにプッシュ回線の場合・・・・ファクシミリ装置回線設定＝プッシュ回線

## それぞれ異なる回線の場合

（「プッシュ回線とダイヤル回線」の組み合わせにおいて）

本装置に接続する２つの回線がそれぞれ異なる場合は、本装置に接続されたファクシミリ装置からの発信を正しく行わせるために、次のようにします。

なお、これらの設定は回線からの着信時においては影響ございません。

① 本装置の電源を切り、側面にある設定ＤＩＰスイッチの５番『回線２PB→DP変換』をＯＮ（スイッチを下げた状態）にします。

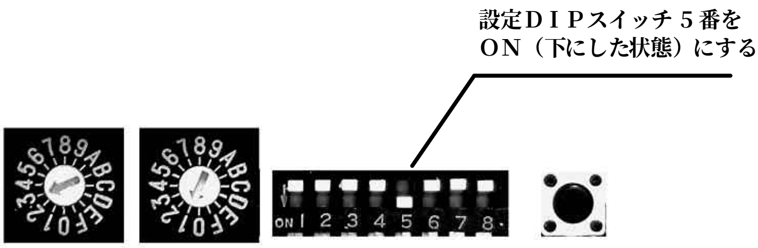
② 本装置の回線１に、プッシュ回線を接続します。

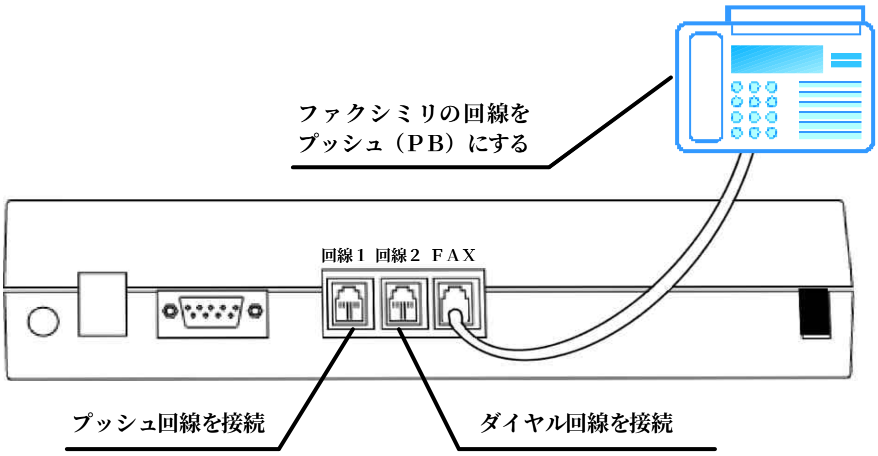
③ 本装置の回線２に、ダイヤル回線を接続します。

④ 本装置に接続されたファクシミリ装置の回線を「プッシュ回線」にします。

⑤ 本装置の電源を入れます。

## ＜プッシュ回線とダイヤル回線の２つを収容するときの接続図＞




以上の設定をしていただくことにより、ファクシミリ装置から外線へ電話する際に、回線 1 を経由してダイヤルすると、プッシュ音にてダイヤルします。さらに、回線２を経由してダイヤルする際には､ファクシミリ装置から出されるプッシュ音を本装置がダイヤル回線のパルス音へと変換して、回線 2 のダイヤル回線に対して発信ができるようになっています。

# ６．基本的な使い方

本装置は、２つの回線及びファクシミリ装置を接続していただくことにより、基本的な機能を特別な操作をすることなく利用することができます。通常利用時における基本的な機能としては次のようになっています。

『 回線切替機能 』

本装置に接続された２つの回線のいずれも使用していない状態で、どちらか片方からの回線から着信があった場合は、自動的に着信のあった回線とファクシミリ装置との接続を行います。

『 受信代行機能 』

２つの回線のうち、片方の回線とファクシミリ装置との接続が行われている間に、もう一方の回線から外部のファクシミリによる着信があった場合、本装置の受信代行機能によって、そのファクシミリ情報を本装置内部のメモリに蓄積を行います。

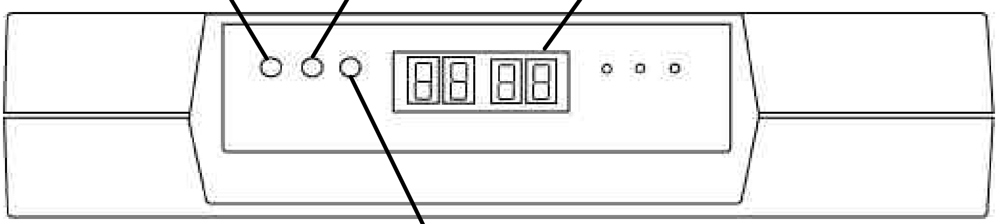
本装置によって受信代行されたファクシミリ情報は、ファクシミリ装置と一方の回線との通信が終了し、なおかつ本装置の受信代行機能が受信を完了した時に排出が行われます。その際、全ての通信が終了し、一定時間が経過後、本装置によってファクシミリを呼び出すことで、ファクシミリ情報の出力を行います。

＊ 本装置が蓄積したファクシミリ情報をファクシミリ装置へと出力している間は、外部回線の着信は１回線のみの受け取りとなり、２回線同時通信はできなくなります。その場合、着信された１回線の通信は　本装置による簡易受信代行機能が働きます。

＊ 停電時など、本装置の電源が入っていない場合には、回線１コネクタとファクシミリコネクタ間が常時接続された状態となり、ほかのすべての機能については動作しません。

# ７．動作表示について

本装置は、現在の動作状況を前面パネルの蓄積ランプ、または排出ランプと状態表示器の組み合わせにて表示します。




① 蓄積ランプ

本装置が回線からのファクシミリ通信を蓄積中に点灯します。蓄積ランプの点灯と同時に、状態表示器上にある回線の現在使用している部分が点灯します。

② 排出ランプ

本装置が蓄積しているファクシミリ情報をＦＡＸコネクタに接続されたファクシミリへと出力中に点灯します。排出ランプ点灯時においては、状態表示器上のＦＡＸ動作状態部分が点灯します。

③ エラーランプ

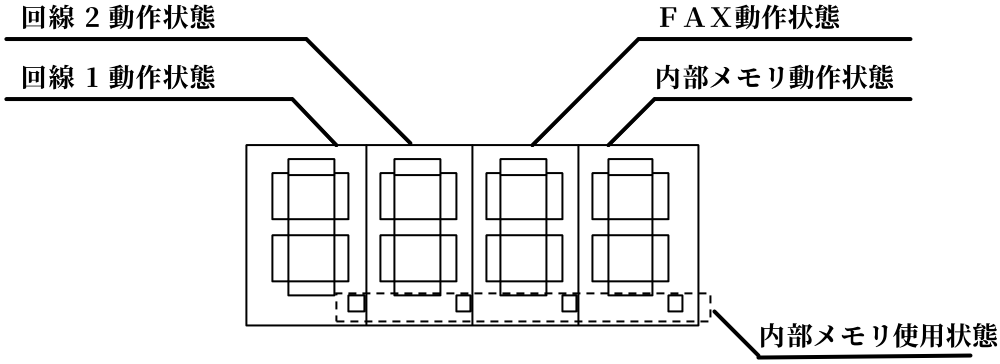
本装置の動作に何らかの異常が発生した場合に点灯します。

④ 状態表示器

本装置の動作状態を表示します。詳細については１３ページをご確認ください。

## ＜状態表示器の詳細＞

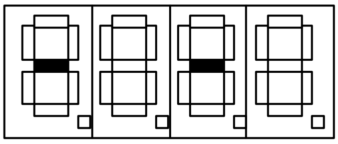
**通信中の場合、状態表示器のそれぞれの桁においては次のものの動作状況を表しています。**



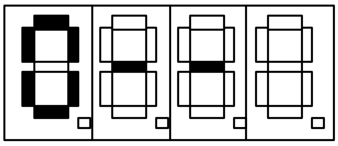

### 『 回線１・回線２動作状態 』

**回線１コネクタおよび回線２コネクタに接続されている回線を使用している際に点灯します。点灯するパターンとしては次のようになります。**

例１：回線１とＦＡＸ間で通信が行われている場合。



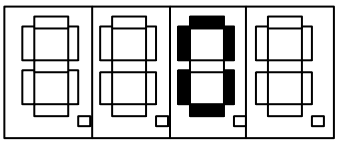
例３：回線２とＦＡＸ間で通信が行われている間に
回線１からの蓄積動作が行われている場合



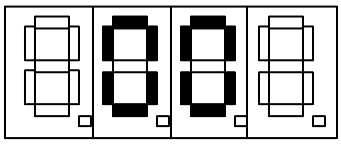
### 『 ＦＡＸ動作状態 』

**ＦＡＸコネクタに接続されているファクシミリ機の動作状態を表示します。**

例４：蓄積情報を排出している場合

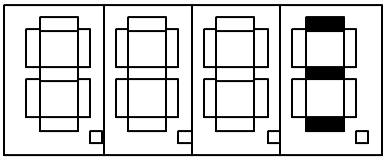


例５：回線２を蓄積中に排出している場合



『 内部メモリ動作状態 』

本装置に内蔵されているメモリを使用しているときに点灯します。点灯する箇所としては次のようになります。

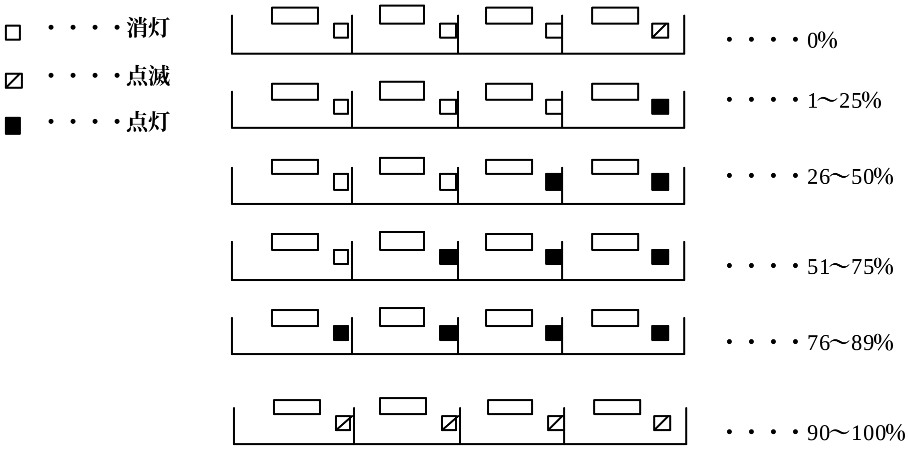


注意：このランプが点灯している間は、電源を切らないでください。蓄積されたファクシミリ情報が壊され排出できなくなるほか、本装置故障の原因となります。

『 内部メモリ使用状態 』

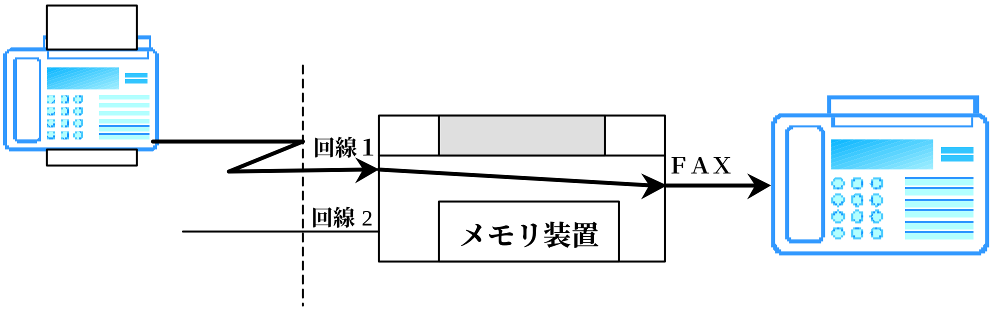
本装置内蔵のメモリが蓄積情報によって使用されている容量をパーセントで表現しています。表示が 100%近くになった場合、その後の受信ファクシミリ情報によっては、本装置によるファクシミリ情報の蓄積ができなくなります。

メモリ装置の容量表示

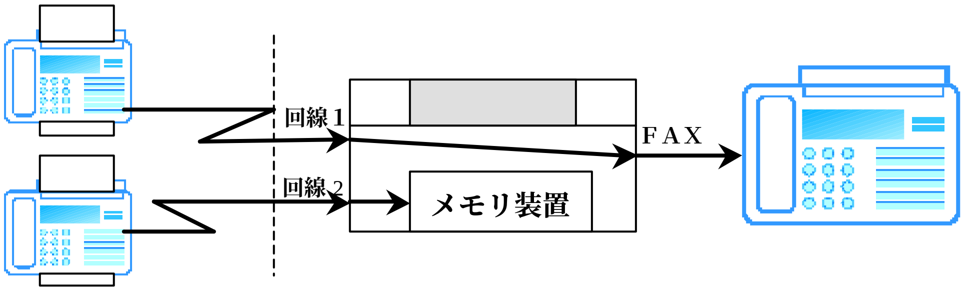


# ８．動作概要

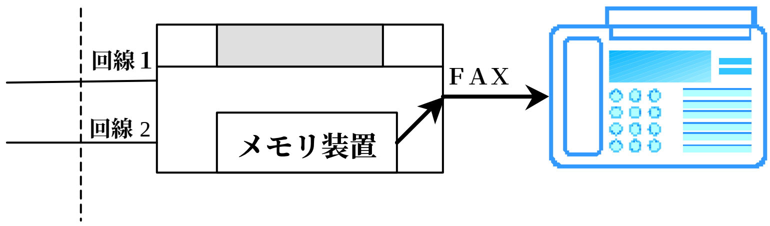
１：どちらの回線とも通信がなく、ＦＡＸコネクタに接続されている機器も使用していない状態で、片方の回線から着信があった場合はその着信をＦＡＸコネクタの機器へ接続します。



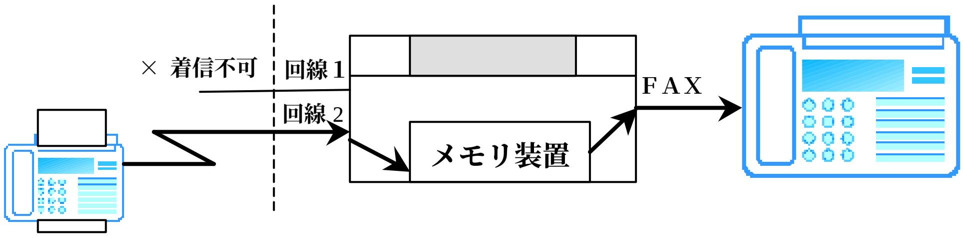

２：片方の回線とＦＡＸコネクタに接続されている機器との通信が行われている状態で、もう片方から着信があった場合、本装置はその着信に対して応答を行います。そして、ファクシミリ通信であった場合は、本装置のメモリ装置にファクシミリ情報を蓄積受信します。




３：回線とＦＡＸコネクタ間の通信が終了し、ＦＡＸコネクタに接続されている機器が空いた状態になると、設定した時間が経過した後に、本装置がＦＡＸコネクタに接続された機器を呼び出します。ＦＡＸコネクタに接続した機器が応答した後に、本装置のメモリ装置内に蓄積されたファクシミリ情報を出力し始めます。




４：本装置のメモリ装置からＦＡＸコネクタに接続されている装置へファクシミリ情報を排出している間に回線からの着信があった場合は、本装置がその着信に対して応答を行い、メモリ装置へと蓄積受信を行います。このときにもう一方の回線からの着信があった場合、その回線に対しての応答はできません。なお、このとき蓄積受信している情報は、現在排出中の通信が終了してからの排出となります。



# ９．各種設定

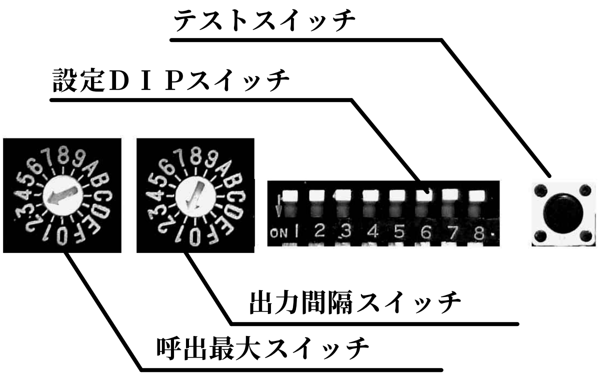
　本装置は、工場出荷時の設定のままでもご利用できますが、ご利用になられる環境に応じて、より最適な設定に変更していただけます。

＊設定箇所によっては、側面のロータリースイッチの値を変えますので、精密ドライバーのマイナスをご用意ください。精密ドライバーでロータリースイッチを操作する際には、本体内部の基板やスイッチ以外の部品等に精密ドライバーが触れないようご注意ください。故障や感電の原因となります。

**初期設定**

　本装置の設定を行うには、本体を正面から見て右側面に蓋がされている箇所があります。この蓋を開けていただくことにより、設定を行うためのスイッチがあり、これを利用して設定を行います。
＊蓋を開けていただく際には、蓋をなくさないようご注意願います。また、設定を行わないときは常に蓋を閉めた状態でのご使用をお願いします。

＜設定に利用するスイッチ類＞



『 呼出時間スイッチ 』

本装置に接続されているファクシミリ装置を呼び出すための呼び出し音を出し続ける時間を設定します。

本装置に蓄積されているファクシミリ情報を排出時においては、こちらで設定された時間ファクシミリ装置が応答しなかった場合は呼び出すのをやめ、一定時間経過後に再度ファクシミリ装置を呼び出します。

回線から着信があった場合においては、こちらで設定された時間ファクシミリ装置が応答しなかった場合、本装置がファクシミリ装置に代わってファクシミリ情報の蓄積動作を行います。

呼出時間スイッチ　設定内容

| スイッチの値 | 設定される時間 | | スイッチの値 | 設定される時間 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 無鳴動 | 通常 | | 無鳴動 | 通常 |
| 0 | 未使用 | 未使用 | 8 | １７秒 | 5回 |
| 1 | １０秒 | 3回 | 9 | １８秒 | 6回 |
| 2 | １１秒 | 3回 | A | １９秒 | 6回 |
| 3 | １２秒 | 4回 | B | ２０秒 | 6回 |
| 4 | １３秒 | 4回 | C | ２１秒 | 7回 |
| 5 | １４秒 | 4回 | D | ２２秒 | 7回 |
| 6 | １５秒 | 5回 | E | ２３秒 | 7回 |
| 7 | １６秒 | 5回 | F | ２４秒 | 8回 |

『 出力間隔スイッチ 』

１件出力した後の次の１件を出力するまでの時間を設定します。

本装置は、回線から蓄積されたファクシミリ情報を 1 件づつ出力するようになっています。そのため、5 件のファクシミリ情報を出力する際には、5 回ファクシミリ装置に対して呼び出し、通信、切断を繰り返します。

出力間隔スイッチ　設定内容

| スイッチの値 | 設定される時間 | スイッチの値 | 設定される時間 |
|---|---|---|---|
| 0 | 未使用 | 8 | ２分３０秒 |
| 1 | 10 秒 | 9 | ３分 |
| 2 | ２０秒 | A | ３分３０秒 |
| 3 | ３０秒 | B | ４分 |
| 4 | ４０秒 | C | ５分 |
| 5 | １分 | D | ６分 |
| 6 | １分３０秒 | E | １０分 |
| 7 | ２分 | F | １５分 |

出力間隔時間を小さくするほど、複数件のファクシミリ情報を早く出力させることができますが、蓄積されたファクシミリ情報をすぐにファクシミリ機へと出力を行ってしまいます。そのため、回線からの着信が短い時間で連続してある場合などでは、回線とファクシミリ機間の通信ができず、２回線同時受信ができなくなってしまう場合があります。

また、出力間隔時間を長く設定しすぎてしまうと、蓄積されたファクシミリ情報を出力するまでの時間がその分長くなってしまいます。

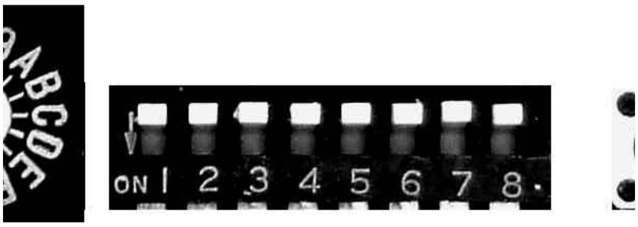
例として、通信時間が 1 分かかるファクシミリ情報が 5 件あった場合で、出力間隔時間を 15 分に設定されると、本装置が蓄積終えてからすべてを出力するまでに、

「（出力間隔 15 分 ＋ 通信時間 1 分）×5 回＝ 80 分」

となり、すべてを出力し終えるまで 80 分かかります。また、1 件 1 件の出力間隔の途中で回線とファクシミリ間の通信が発生した場合は、その通信の分だけさらに時間がかかります。

『 設定ＤＩＰスイッチ 』

本装置の動作について設定を行うスイッチです。




上図左端がスイッチ番号１番で、右端が８番となります

設定ＤＩＰスイッチの内容

| スイッチ番号 | 設定内容 | スイッチがＯＦＦの状態（上に上がっている状態） | スイッチがＯＮの状態（下に下がっている状態） |
|---|---|---|---|
| (1) | 未使用 | - | - |
| (2) | ビープ音出力 | 音を出す | 音を出さない |
| (3) | ＦＡＸ呼出方法 | 通常呼び出し（16Ｈｚ） | 無鳴動呼出（Ｆ網）*（1300Ｈｚ） |
| (4) | 回線着信不可動作 | 動作させない | 動作させる |
| (5) | 回線２PB→DP変換 | 動作させない | 動作させる |
| (6) | 回線切替方式 | Ａタイプ | Ｂタイプ |
| (7) | メンテナンスモード | 通常モード | メンテナンスモード |
| (8) | 未使用 | - | - |

*本装置の受信代行機能利用時においては、無鳴動着信（Ｆ網 1300Ｈｚ）には対応していません。

（1）・（8）は使用していませんが、スイッチはＯＦＦの状態にしてください。

（２）ビープ音出力

通信の開始・終了時、およびエラーの発生時に音を発生させることで、動作状況をお知らせします。そのときの音を発生させるかどうかを決めます。

（３）ＦＡＸ呼出方法

蓄積されたファクシミリ情報を排出する際に、ファクシミリ装置に対して呼び出す方法を決めます。普段利用するときには「通常呼び出し」にします。

接続するファクシミリ装置がＦ網対応である場合は、「無鳴動呼出」にすることで、ファクシミリの呼び出し音を鳴らせることなく、すばやくファクシミリ機に応答させることができます。

（４）回線着信不可動作

蓄積されたファクシミリ情報がファクシミリ機へと排出が行われ、なおかつ片方の回線からの着信が蓄積動作となっている場合、もう一方の回線については

着信に対しての応答ができない状態となります。その場合に、着信のあった回線側に対して、一瞬受話器を上げた状態にしてから電話を切り、相手に対しては『プーッブーッ』という話中音を流す動作を行うのが「回線着信不可動作」となります。なお、この動作をＯＦＦにした場合、着信があった場合は常に呼び出ししている状態となります。

（5）回線 2 PB→DP 変換

本装置に接続されている回線２つがプッシュ回線とダイヤル回線のそれぞれになっている場合に、ファクシミリ装置の回線設定がプッシュ回線の状態のままで、ダイヤル回線に対して番号が発信できる機能です。

この場合、本装置の回線１コネクタにはプッシュ回線、回線２コネクタにはダイヤル回線を接続してください。

（6）回線切替方式

ファクシミリ機から電話をかけたり、ファクシミリを送信する場合に、本装置につながれている回線の選択方法を決定します。

Aタイプの場合は、空いている回線を自動的に選択します。

Bタイプの場合は、受話器をあげた後、回線切り替え番号をダイヤルした後に相手先電話番号の入力を行います。回線 1 を選択する場合は「0」、回線２を選択する場合は「9」をダイヤルします。

Aタイプは両方ともＮＴＴ回線を使用している場合など、特に使用する回線を選択しない場合においての利用に最適となっています。

Bタイプは片方ＮＴＴ回線で、もう片方の回線がファクシミリ専用回線といった場合において、優先的にファクシミリ専用回線を使用したい場合などで手動によって切り替えることによって、回線の選択が意図的にできる方法となっています。

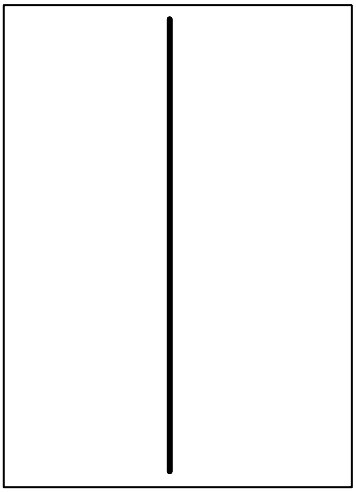
（7）メンテナンスモード

弊社認定のサービスマンによって利用されるモードです。通常は「通常モード」でのご利用をお願いいたします。

『 テストスイッチ 』

本装置とＦＡＸコネクタに接続されたファクシミリ機との間で、通信ができるかどうかを試験するためのスイッチです。スイッチを押すことで、Ａ4 サイズで中央に直線を描いたものをファクシミリ機に対して送ります。

なお、本装置のメモリ装置内にファクシミリ情報がある場合においては、テストスイッチは無効となります。



上記の図を出力します。
出力されない場合はファクシミリ装置の
接続を確認してください。
ファクシミリにて使用している用紙サイズに
よっては、直線が描かれる左右の位置が若干
ずれる場合がございます。

# １０．便利な使い方

## 『 即時排出機能 』

本装置によって蓄積されたファクシミリ情報をすぐに出したいとき、次の操作を行うことで、即時に排出できます。

＜操作方法＞
ファクシミリ機の受話器を上げるか、オンフックボタンを押して、受話器を上げた状態にします。そして、プッシュボタンの「＃」を押した後、ファクシミリ機の受話器を下げるか、オンフックボタンを押して受話器を下げた状態にします。数秒後、本装置がファクシミリを呼び出して、出力を行います。
なお、ファクシミリ機がダイヤル回線に設定されている場合は、受話器をあげたとき、いったんトーンボタン（注）を押してからプッシュ音が出せる状態にした後に「＃」を押してください。
注：通常は『＊』ボタンがトーンボタンになっています。
機器によっては別にトーンボタンが用意されている場合があります。

なお、本装置は１回の着信で受信した情報を１つのセットとして蓄積し、一度の通信で排出するのは１つのセットのみとなります。そのため、複数の着信による蓄積があった場合は、その回数分排出のための通信を行います。

## 『 ＦＡＸ無鳴動呼出 』

本装置からファクシミリ情報を排出する際、本装置に接続されているファクシミリ機を呼び出すときに、ファクシミリ機がベル（着信音）を鳴らさずに着信を行うという機能です。
＜操作方法＞
本体側面「設定ＤＩＰスイッチ」の 3 番をＯＮ（下げた状態）にすることで、無鳴動呼出になります。

ただし、ファクシミリ機がＦ網（もしくは無鳴動着信）に対応していて、無鳴動着信の設定がされている必要があります。

# １１．こんなときは？

Q：代行受信が行われない

- メモリ装置の容量表示をご確認ください。1件あたりのページ数が多い場合や、1枚あたりの情報量が多いものを代行受信する場合は、メモリ装置の容量表示が 90%～100%の表示になっていると、代行受信ができない場合があります。

Q：排出動作を行っているのに、ファクシミリ装置が応答しない

- 本装置のＦＡＸ端子とファクシミリ装置とがモジュラーケーブルにて正しく接続されているかご確認ください。
- ファクシミリ機が通信可能な状態になっているかご確認ください。
- ディップスイッチの３番の状態をご確認ください。ON（下げた状態）の状態で応答しないのであれば、ＯＦＦ（上げた状態）にしてください。
- ファクシミリ機の鳴動回数（ベルが何回なったらＦＡＸ受信になるか）や留守番電話機能などが働いていないかなどをご確認ください。特に、留守番電話機能によっては本装置がファクシミリ機に対して正常に呼び出しを行うことができない可能性があります。

Q：ファクシミリ装置が通信していない状態なのに、回線からの着信がすぐに代行受信になる

- ファクシミリ装置がオフフック（受話器を上げた状態）になっていないかご確認ください。オフフックの状態になっている場合は、オンフック（受話器を置いた状態）にしてください。

Q：ファクシミリ通信が遅くなった

- 本装置は高速ファクシミリ通信規格「スーパーG3」には対応していないため、本装置の代行受信機能による通信を利用した場合、ファクシミリ機によっては遅くなります。
- 電話回線の状況によって通信速度が遅くなる場合があります。これは通常のファクシミリ機においても起きる現象で、本装置の異常ではありません。

# １２．仕様一覧

受信代行機能付ファクシミリ専用２回線収容装置

FAX TANC TOP[ ファックス タンク トップ ]

| | |
|---|---|
| 収 容 回 線 数 | ２回線 |
| 接 続 端 末 数 | １端末（ファクシミリ専用） |
| 回 線 接 続 方 式 | 通信コネクタ（RJ-11） |
| 電 源 | AC100V (60Hz/50Hz) |
| 消 費 電 力 | 最大 12W |
| 使 用 環 境 | 温度： 5℃ ～ 45℃<br>湿度： 20% ～ 80% |
| 本 体 寸 法 | 219 x 210 x 44 （奥行 x 幅 x 高さ） |
| 本 体 重 量 | 約 1.2kg（本体のみ） |
| 適 合 認 定 番 号 | AD02-0842JP |

# １３．お問合せ先

本製品についてのお問い合わせは、
販売店もしくは弊社までお願いいたします。


株式会社 レッツ・コーポレーション

〒４６０－０００２
愛知県名古屋市中区丸の内二丁目 ６－１０
レッツ丸の内本社ビル

ＴＥＬ (052)201-6230 (代表)
受付時間 ９：３０～18：00（土日、祝日を除く）
時間外は留守番電話での応対となります。

ＦＡＸ (052)201-5050

インターネットウェブサイト http://www.lets-co.co.jp/


LET'S corporation
株式会社 レッツ コーポレーション